Japanese Journal of Reproductive Endocrinology

巻頭言

理事長
峯岸　敬（群馬大学教授）

本年より学会，編集活動を通じてご指導をいただいた前理事長　武谷雄二先生より理事長を引き継ぎさせていただきます．初代の加藤順三先生，青野敏博先生，さらに武谷雄二先生と，学会活動の活性化に尽力していただきました．今後とものご指導と会員の皆様のさらなるご協力を合わせてお願いし，職務を果たしていきたいと思います．

本学会は，小児科，泌尿器科，生理学，動物学，比較生物学，獣医学，産科婦人科学と多分野の研究者の集合であり，その特性を生かし，また相互の意見交換を通じて，生殖内分泌を共通のテーマにこの分野を活性化することを目標にしたいと思います．

新医師研修制度の施行により，どの分野でも医師数の減少が問題であり，より深刻な問題は，新しい制度とともに研修医たちは，即戦力を身につけるための技術習得を重視し，医療を支える医学に対する興味を失い，研究分野離れが危惧されることです．本学会では，魅力ある研究の成果を広く世に周知することで，研修医など若い医師や，学生の研究に対する興味を引き出したいと思います．

生殖現象は生物にとって基本の部分であり，内分泌の臓器の複雑な相互作用によって制御されています．生殖機能コントロールの観点から，中枢と末梢の相互作用，局所ではホルモンと受容体の結合と細胞内情報伝達様式など，生殖に関わるホルモンや生理活性物質の臓器間，また細胞間の情報伝達に関わる様式やそのメカニズムは，まだまだ解明されるべき点が多くあります．配偶子形成における減数分裂，卵と精子による受精は，生殖過程における細胞分裂と細胞融合の様式であり，これらのメカニズムを解明する過程は，最近脚光を浴びている再生医療と生殖医学を近づけることになると思います．生殖に関する倫理的側面を含めて課題が山積していますが，生殖内分泌学が魅力ある研究分野であることを多くの学生に知ってもらい，学会に参加していただきたいと思います．

本会のさらなる発展のため，会員皆様の一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます．